

\*\*\*\*\*

静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校  
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

\*\*\*\*\*

静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校は、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、シラバスにより目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準を明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。

さらに、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得するため、各分野において企業委員から意見を聴収する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

\*\*\*\*\*

国際エアライン科 エアラインコース  
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

\*\*\*\*\*

国際エアライン科エアラインコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、豊かな人間性と語学力、上質なサービススキルの習得を教育の軸に2年間で知識の習得と実技の基礎から応用までを習得するための講義・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

航空基礎、航空運輸概論など航空運輸の基礎的知識の習得を目的とした科目を開設する。また、客室乗務員への就職試験に必須の立ち振る舞いや自己表現力、英語力を磨くため、客室実習、面接、エアライン英語の科目を開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし更に専門的なイレギュラー対応、スペシャル対応を実習するための科目を開設する。また、チームで仕事を行う航空業界の特性を理解し、専門性の高いスキルがどのように他部所と連携しているかを実践的に学ぶ科目を開設する。

\*\*\*\*\*

国際エアライン科 グランドスタッフコース

## カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

\*\*\*\*\*

国際エアライン科グランドスタッフコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、高い専門性とおもてなしの精神あふれたサービススキルの習得を教育の軸に2年間で知識の習得と実技の基礎から応用までを習得するための講義・実習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

### 【1年次】

空港支援業務に必要な航空基礎知識、旅客ハンドリング業務、ランプハンドリング業務を座学と実習で学ぶ共通科目を開設する。選択授業としてTIMやユニバーサルサービス技能、国際航空貨物取扱い業務に必要な資格取得のための対策授業を開設する。

### 【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし、更に専門的なイレギュラー対応、スペシャル対応を学ぶ科目を開設する。また、チームで仕事を行う航空業界の特性を理解し、専門性の高いスキルがどのように他部所と連携しているかを実践的に学ぶ科目を開設する。

\*\*\*\*\*

## 観光・ホテルブライダル科 観光ビジネスコース

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

\*\*\*\*\*

観光・ホテルブライダル科観光ビジネスコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、「お客様の心に残る旅の演出」という基本目標を持ち、2年間で知識とスキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

### 【1年次】

国内観光の基本知識として、「国内旅行業務取扱管理者」取得に対する科目を開設する。また、旅行業法や旅行業約款などのルールや日本国内の観光資源についてなど、あらゆるニーズに応え得る幅広い知識を学習するための科目も開設する。さらには国内研修におけるプランニングと実地検証や海外研修における添乗業務などの実践を取り入れた科目も開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識とスキルを活かし、さらに深めていくための科目を応用編として開設する。視野を海外にも向け渡航に必要な知識として時差や旅券申請、航空運賃や免税など、知識の幅を広げていく科目も開設する。また、予約システムを使用した実習やツアー企画、接客のロールプレイなどスキルの幅を広げる科目も開設する。

\*\*\*\*\*  
観光・ホテルブライダル科 ホテル・ブライダルコース  
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）  
\*\*\*\*\*

観光・ホテルブライダル科ホテル・ブライダルコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、「プロフェッショナルとしてのマインド育成」を教育の軸に、2年間で知識とスキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

ホテル概論やブライダル概論など、知識として体系的に理解するための科目を開設する。また、料飲・宴会サービス実務や宿泊実務、ブライダル実務など、業界に必要な基本スキルを身に付けるための実践的な科目も開設する。さらには、学生一人ひとりのキャリアデザインのために、今後の業界でのキャリアを見据え、ホテル・ブライダル業界に特化した就職サポートを行う科目も開設する。

【2年次】

1年次に学習した基礎知識を活かし、知識・スキルをさらに深めていくための科目を応用編として開設する。また、接客部門だけでなく管理部門やホテルの数字を知ることで、ビジネスとしての視点を学ぶマネジメントの科目も開設する。さらには、2年間の集大成として模擬ブライダルを実施することで実践力を養う科目も開設する。

\*\*\*\*\*  
国際コミュニケーション科 ランゲージコース  
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）  
\*\*\*\*\*

国際コミュニケーション科ランゲージコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、「グローバル人材としての視点の育成」を教育の柱に、2年間で英語話者としての知識と意識、また異文化に対する深い理解を育むためのインプット教育とアウトプット教育をバランス良く配置した教育課程を体系的に編成する。

### 【1年次】

英語話者たる上で必須である基礎知識を学ぶ「TOEIC SW I」、発話意識を高める「外国語会話 I」、「海外生活研修」、また「比較文化研究」では異文化に対する理解を深める。前述に加え、それぞれの職業観を育むための「ビジネス英語 I」も開設し職業教育も並行して行う。

### 【2年次】

1年次に学習した基礎知識に基づき、話し手の人格を映し出す英語話者の育成を目指し、「Drama English」や「English Reading」など様々な視点から学習者自身の意見が求められる授業を開設する。自身の持つ語彙を最大限活用しながら「伝える」ことを意識することで国際的に活躍できる英語運用能力を身につける。

\*\*\*\*\*

### 国際コミュニケーション科 コンシェルジュコース カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

\*\*\*\*\*

国際コミュニケーション科コンシェルジュコースは、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、「おもてなしのスペシャリスト育成」を教育の柱とする。2年間で上質な接客サービスを提供する上で求められる知識とマインド、また提案力を育み、実践の場に於ける気づきの感度育成を目指す講義と実技をバランス良く配置した教育課程を体系的に編成する。

### 【1年次】

本コースの根幹であり実務経験者から実践的な講義を行う「コンシェルジュ I」、些細な気づきからなる接客に対するマインドを磨く「テーマパーク I」や「ホスピタリティスキル」、提案力育成に必須である情報に対する意識を高める「インフォメーションデザイン」、また「異文化理解」では異文化に対する理解を深め、提供できるおもてなしの幅を広げる。前述に加え、基本的なビジネス知識習得のための「文書作成」も開設し職業教育も並行して行う。

**【2年次】**

1年次に学習した基礎知識に基づき、発展教育を行い、それまでの学びを自分自身の発想や企画に落とし込み、様々な視点から学習者自身の見解を共有する授業を開設する。セルフブランディングを確立させることで自分自身の個性を生かした上質なおもてなしの提供力を身につける。

\*\*\*\*\*

**国際交流科**

**カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）**

\*\*\*\*\*

国際交流科は、静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校のカリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）のもと、ディプロマポリシー（卒業認定・専門士授与の方針）に掲げる人材を育成するために、「グローバルに活躍できる人材」という基本目標を持ち、3年間で日本語を主とした語学力・ビジネスマナー知識とビジネススキルの基礎から応用までを習得するための講義・実技をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

**【1年次】**

観光サービス業をはじめとする職業人を目指す上で必要な日本語の向上を図る。これを2・3年次の学習の基礎としていく。

**【2年次】**

2年次以降は、「国際エアライン科」「観光・ホテルブライダル科」「国際コミュニケーション科」の各コースの専門科目の主要な科目を選択履修し、各業界の知識スキルを体系的に学んでいく。併せて語学、接遇、パソコン等ビジネス場面で必要なスキルも実習・演習等により身に付けていく。

**【3年次】**

2年次に引き続き選択した専門コースでのスキル向上を図る。また就職後を見据えて、各自の語学・接遇・パソコンの力をより実践で使えるように強化していく。